

宇陀市立病院から

病院の休診日：
土・日・祝日・年末年始

■内科からのお知らせ

11月に新しく採用された常勤医師を紹介します

▶竹田 征治 (たけだ ゆきじ) 医師

資格：日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医

11月から勤務させていただいています。今までは、大学で循環器疾患の専門医療に携わっていましたが、今回、宇陀市立病院に赴任し、循環器内科に加えて一般内科と地域医療も行うことになりました。

地域のみなさんになじんでいただけるよう、がんばりますのでよろしくをお願いします。

診療日：竹田医師の外来診察は毎週月・木曜日です



■12月29日(火)～1月3日(日) 休診します

年末年始の休診日の救急診察については、必ず事前に電話でお問い合わせください。なお、小児科については、休診中の対応はできません。また、病状によっては専門外等の理由から診察が困難な場合もありますので、ご了承ください。

■糖尿病教室のご案内

【12月の予定】

3日(木) 糖尿病の治療 ～運動療法～ (第4回)

10日(木) 糖尿病の合併症 (第5回)

17日(木) 低血糖、足のケア、体調が悪くなった時(シックデイ)の対応について (第6回)

【時間】 午後2時30分～(時間を変更しています)

【開催場所】 北館2階栄養指導室

■市立病院職員募集(随時採用)

- 薬剤師(正職員)1名
対象者：昭和50年4月2日以降に生まれ、資格を有する人
採用試験：筆記試験、小論文、面接
試験日：12月17日 申込期限：12月10日
提出書類：履歴書、資格免許の写し
 - 診療放射線技師(正職員)1名
 - 作業療法士(正職員)1名
対象者：昭和60年4月2日以降に生まれ、資格を有する人
採用試験：筆記試験、小論文・面接 試験日：後日連絡
提出書類：履歴書、資格証明書の写し
 - 非常勤医師(消化器内科・呼吸器内科・一般内科)
 - 看護師(パート)1名・看護助手(パート)1名
も募集中です。
 - ★問い合わせ・申し込み：経営企画課
- ## ■レスパイト入院のご案内
- この制度は、在宅で介護にあたられているご家族のケガや病気等の諸事情による介護者の不在や、介護疲れからくる介護者の心や身体の負担を軽減することを目的に、患者さんに当院で一時的にご入院していただき、ご家族を支援するものです。
- 【対象者】
- ・在宅で地域のかかりつけ医(在宅医)に往診を受けられている患者さん。
 - ・ショートステイやデイサービス等を受けにくい被介護者(医療保険適用の方に限る)。
- ※申し込みは、在宅医からの事前予約が必要です。
- ★問い合わせ：地域連携室

年々増加する乳がん 乳がんってどんな病気？

■乳がんとは？

- 乳がんは女性が最も多くかかるがんです。
- 乳がんにかかる人は30代から増え始め、ピークは40代後半～50代です。30～64歳の女性のがん死亡原因のトップは乳がんです。
- 乳がんは乳腺(母乳をつくる場所)に発生する悪性腫瘍です。
- 主症状は、ほとんどが乳房のしこりで、それ以外に、痛み、乳首から血液の混じった分泌物が見られる場合や乳房の変形などがあります。
- 乳がんは血液検査では分かりません。
- 早期発見するには、自己検診を行うとともに、乳がん検診を受けましょう。

乳房にしこりが触れる病気の大部分は、乳腺症(生理前に強くなる乳房の痛みとしこりが特徴)で、それ以外に線維腺腫(せんいせんじゅ)(クリクリとよく動くゴムのような感じの硬いしこり)ですが、乳がんの場合もありますので、しこりを触れたり、おかしいなどと思ったら早めに医療機関を受診しましょう。

乳がんになる方は増えており、日本人女性の12人に1人がかかるといわれています。確実な予防法はありませんが、早期発見・早期治療すれば約90%の人が助かります。そのためにも自己検診や乳がん検診を活用しましょう。

当院では、外科に受診してください。医師による視診、触診以外に、マンモグラフィ(乳房レントゲン)やエコー(乳房超音波検査)を行います。最終的には乳房内のしこりに細い針を刺して細胞を吸引したり(穿針吸引細胞診)する場合があります。

“私だけは乳がんにならない、私には関係ない”とは思わないで、日頃から自己検診(自分で乳房を観察)を行い、自分の乳房の状態を把握して下さい。また、定期的に乳がん検診を受けて下さい。(当院では、乳がん検診も行っています)。

自分だけでなく、家族や周りの大切な人のためにも、自発的に検診を受けることをお勧めします。

外科医師 中辻直之(副院長)



▲マンモグラフィ